

笹加だより

編集・発行
株式会社 笹加
編集委員会

名古屋市長区有松1802番地
TEL.052(623)3338
http://sasaka.co.jp/

2016年
新春号

歴史ある町並みや芸術、文化をしっかりと継承し、有松、そして笹加は更なる発展を目指して参ります

年頭挨拶 竹田 嘉兵衛

新年あけましておめでとございます。

今年「申」という字は中国の古典によれば草木が伸びきり果実が成熟していくことを意味しています。2016年の今年も私共にとって絞り開祖 竹田庄九郎がこの地で絞りをはじめて408年目を迎えます。

有松は災害や戦災を免れて江戸時代の建物立派な町並みとして、そのまま残っている幸運に恵まれた町です。幕末に絞りをかうために有松を訪れたイギリス人の外交団の1人アーネスト・サトウは「アーネストサトウ日記」

の中で有松の町を「私の見た日本の町の中で一番清潔で豊かな感じのする町」と書いてくれています。

歌川広重も東海道五十三次のシリーズでたくさん鳴海の宿を版画に残していますが、そのほとんどが有松の町を描いたもので、江戸時代にすでに街道一の名産有松絞りと有松の町並みだったのです。

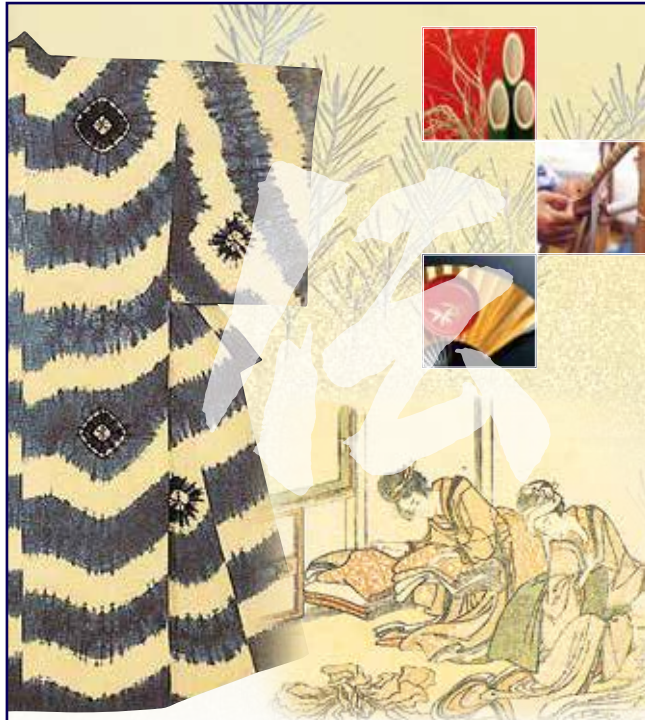
江戸時代は鎖国していたこともあって、日本独自の文化が育ち、美術の部門では浮世絵等を通じてヨーロッパ文化に大きな影響を与え、マネ、ルノワール、ゴッホ等、当時の一流の印象派の画家達は日本狂になったと云っているほどの強い影響を受け、その人達が始めた芸術運動がアールヌーボーで、今は世界の古典文化となっています。

江戸時代の日本は芸術の先進国で、そんな人々がつくったのが浮世絵であり、また有松の町並みは江戸時代の文化を形として現代に残しているのです。

その有松の町並みが特別なことが無いが、今年6月くらいに「重要な伝統建造物群保存地区」に選定されます。

日本人が開発と経済的發展を最優先にしていた40年前に、伝統的な町並み保存の大切さを真っ先に世に問いかけた、今より一世代前の有松の諸先輩もさぞ喜んでいただいていることと思います。

皆様のご健康とご多幸を祈ると共に申年の今年、知恵を絞って日本文化の本質をたずね開祖庄九郎に負けぬ努力を、町並みと絞り文化の維持發展の為にしていきたいと考えています。



様々なアイデアでチャレンジ、ご意見もお聞かせください!!

今回も「rooms」には、なく、東京ビッグサイトで開催されました、「ファッションワールド東京・秋」に出展しました。その中でも弊社は「国際メンズファッション展」という展示会に出展。メンズファッションということなので、男物を今回は制作しました。



各ブースには様々な最新アイテムが並んでいました

SASAKA NEW PROJECT
新プロジェクト報告
営業部 竹田 昌弘

ト、ポストンの3タイプのバッグと、着物の生地を使いネクタイ、蝶ネクタイ、アスコットタイをフォーマルにも使えるモノを制作しました。反応はまずまずで、様々な業種の方々が弊社ブースに來場してくださり、今回も「rooms」同様な話ができました。

某〇谷プロダクション(ウル〇〇マン)がコラボレーションできないかという話もいただきました。

今まで中々バッグなど新商品をみなさまに発表できずにいましたが、近々お披露目できる日が近いかなと思います。これかも応援お願いします!!

また、こんな製品作っただらどう?とか、こんなモノはないかなど、みなさまからご意見ご要望などあれば是非お聞かせください。



新しい「しほり」トレンドをどんどん提案して参ります!

宜しくお願いします!!



2016年笹加スケジュール

ご参加、お待ちしております!

1月	5日(火) 新年会 名古屋
	7日(木)~13日(水) 正月展 名古屋
	15日(金)~17日(日) 正月展 大阪
	21日(木)~24日(日) 正月展 東京
2月	13日(土)~15日(月) 珊瑚展 名古屋
3月	3日(木)~6日(日) 春展 東京
	9日(水)~15日(火) 春展 名古屋
	18日(金)~20日(日) 春展 大阪
4月	8日(金)~10日(日) 特別展 名古屋
5月	7日(木)~9日(月) 絞り展 名古屋
	25日(月)~29日(日) 特別展 名古屋
6月	4日(土)~5日(日) 絞りまつり 名古屋
	9日(木)~12日(日) 夏展 東京
	17日(金)~19日(日) 夏展 大阪
	22日(水)~24日(火) 夏展 名古屋

※全て予定です。日程等、変更になる場合がございます。



洒落た洋館の「東京都庭園美術館」にて

毎年恒例の目黒雅叙園の「月とさくららの宴」。目黒駅に近い東京都庭園美術館が3年かけて改装し、リニューアルオープンしたという話を聞き、庭園美術館と雅叙園を巡るミニツアーを企画いたしました。11月17日と18日の二日間、なんとか天気も持ちこたえて少人数のツアーでしたが、和気あいあいと楽しく過ごすことができました。朝11時に目黒駅東口を出発して、のんびり歩

東京店より

庭園美術館と

目黒雅叙園「月とさくららの宴」

東京店 養輪克紀

いて5分ほどで首都高速の高架をくぐると、景色が変わります。左手にうっそうとした森が突然現れ、都心とは思えない緑豊かな自然に恵まれた景色になりました。そこが東京都庭園美術館です。門を入って広い敷地を奥へ進むと庭園に囲まれた洒落た洋館が建っています。

この洋館は昭和天皇の叔父の朝香宮がフランス留学した際、多大な影響を受けたアールデコ様式を取り入れ、フランス、日本の芸術家、建築家の力を結集して昭和8年に建てられました。80年も経っているとは思えないほど斬新で、洗練されています。沢山の部屋に個々の特徴があり、シャンデリア、壁画、暖炉、床、階段など細部にもこだわっています。建物自体が美術館で、皆さん各部屋をじっくりゆっくりご覧になっていました。

今回は宝飾デザイナーのオットーツンクリの展覧会が開催されていました。非常に前衛的で一般的な宝飾とはだいぶ趣が違います。



日本の伝統文化の奥深さを堪能した、贅沢な一日でした

今回のリニューアルで新館が建てられました。外の光を多く採り入れ、庭園の緑もよく見える明るいモダンな建物です。

美術館を出て、わずかな距離ですがタクシーで移動して、目黒雅叙園到着です。まずレストランでランチbuffet。今回は「東北フェア」ということで東北の美味しい食材を使った料理が食べ放題。デザートも充実していて皆さんついつい食べ過ぎの様子でした。

食後館内の「月とさくららの宴」の会場へ入りました。最も雅叙園らしい豪華絢爛な広間。

螺鈿の大きな壁画、極彩色の壁画や天井画など異次元の空間です。その空間に飾られた月とさくららの柄のもの。皆さん思わず見とれていらっしゃいました。和の空間でしばし豊かな時間を過ごさせていただきました。日本の伝統文化の奥深さを感じられるひとときでした。これからもいろいろとご提案させていただきます。ご参加よろしくお願いたします。

笹加大阪です

京都日帰りツアー

瓢亭にて「朝粥の会」開催

大阪店 岸野芳一

皆さまお元気でしょうか。大阪の岸野です。今回は8月の末にお客様をお誘いした「朝粥の会」をご報告します。三年ぶり二回目となった会は、実は販売会を含まない純粹な遊びの会で、最初から最後まで何か晴れ晴れとした心持ちがありました。何故でしょうか。

朝粥は京都の料亭「瓢亭」の名物ですが、次々と出されるお料理に、朝粥というタイトルの割には豪華さがあり、今回私も戴くことができました。堪能させて頂きました。その後、堂本印象美術館へ二緒しました。恥ずかしなが

ら堂本印象氏のことを全く知らなかった私は、その独特の画風と色遣いの妙に、暫し時を忘れてつつ、しかしながら帰りの時間も気にしつつ、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

これからは、できる事ならばこのような「遊びの会」の回数を少しでも増やしていきたい、そう感じた夏の終わりでした。



さすが「瓢亭」の朝粥。美味しくいただきました!

東京店より

料理、仏閣、織物を堪能： 錦秋の京都を訪ねて

東京店 山崎正明

笹加東京店は11月4日(水)・5日(木)の二日間、お客様10名と社員 蓑輪、山崎の二人総勢12名で京都に行っていました。

お陰様で天気にも恵まれ、前日まで「京都は寒いから暖かくして来てください」と言われていたのですが、当日はかえって暖か過ぎるほどの陽気、紅葉には少し早かったかも知れませんが、大変楽しい旅行になりました。

東京を出発すると、京都に着いたらもうお昼。さっそく食事です。昼食は普茶料理の閑臥庵(かんがあん)。さすが京都、奥が深い。思わずカメラでパシャリ、「こんな料理にありつけるのも、お客様のお蔭です。ありがとうございます。モグモグ、ニコッ！」(これは山崎の心の声です。)

お腹もいっぱいになったところで少し腹ごなし。普段入れない大徳寺の芳春院を散策、見学。ここに入場、見学させて頂く為に人数限定、10名以下と言う事になってしまったのですが、残念ながら今回参加できなかった方は大変申し訳ありませんでした、次回のお楽しみにしてください。



秋の定期拝観が行われていた大徳寺の芳春院は人数限定でした

今夜のお宿は、京都ホテルオークラです。チェックインして少し休憩です。まだお腹はいっぱいですがもう夕食。「京都旅行に行ったら痩せっちゃた」と言われる訳にはいきませんので美味しい料理をたく



西陣織で有名な河村織物さんにて、真剣に見学中

二日目は、京都と言えはお寺、友禅、西陣織。西陣織の代表でもある河村織物さんを訪ねました。先ずは、帯を織っているところを見学させて頂き、エッ、帯を織る時って裏側を見ながら織るんですか、ビックリ！

実際西陣で織られている帯は今も少ないんだそうです。またまたビックリ！次に河村社長さんのユニークな講演。帯のお話ではなくともおもしろくて、ためになるお話でした。最近では大学などからたくさん講演依頼があり若い方たちにも大うけだそう。皇室の方々もたくさん愛用されているようです。着用された写真をたくさん見せて頂きました。西陣の中でも老舗の河村織物さんさすがです。商品のこだわり、社長さんを始めとする皆さんのセンス、河村織物さんでしか織れない職人さんの技術、どれもはずす事が出来ないですね。私たちも見習わなければいけないと改めて感じさせられました。

続いてもうお昼になります。今日の昼食は京都大学すぐそばの、おしゃれな本格派イタリアンレストランチアーノ。お店の2階部分を貸し切りにして頂きゆつたり、のんびりと味わいました。最後に京都らしい素敵なお土産を物色して、お疲れ様でした。皆様、京都を満喫して頂きましたでしょうか。このと

さん食べて頂きます。

夕食はホテルからゆつくり歩いて2分程の鴨川沿いで夏になつたら納涼床もやっている京料理「さつき」です。着物姿の京美人さんにお酒をついでもらい、鼻の下が伸びたのは私だけでしょうか。

Media Information

メディア情報

▶伊勢志摩サミットにて配布される愛知県 PR 冊子にて協力

▶平成28年2月29日(月) 放映予定
NHK BS プレミアム「クラシック倶楽部」にて弊社で収録撮影

収録当日はあいにくの雨。しかし撮影はしなければいけないので、スタッフの方々が頑張っておられました。撮影も朝9時から夜10時まで！一日中プロの方の演奏が聴けて得しました。



▲「クラシック倶楽部」撮影風景

▶平成28年1月12日(火) 放映予定
NHK 総合 ドラマ10「愛おしくて」(全8回)にて、有松にて一部ロケ、弊社 竹田さとみ、中村倭子 私物着物衣裳貸出協力

このドラマの主人公は紋作家という肩書ですが、内容は“大人の恋愛”。主な舞台は多治見で、ほぼ多治見で撮影されていましたが、最後に有松でも少し撮影を行いました。弊社でもその日撮影があると聞き準備しましたが、通りに面した格子越しに主役の田中麗奈さんと共演の吉田栄作さんが歩くところを撮影という内容でした。間近で俳優さんを見るとやっぱり田中麗奈さんはきれいな方で吉田栄作さんはかっこよかったです。どちらもNHKで来年放送ですので、是非ご覧ください！！



◀「愛おしくて」竹田邸前での撮影風景

ころすつかり定着した京都ツアー、来年も計画致します。笹加でしか手配できないお楽しみや、ツウしか知らない隠れ家のお食事処など満載です。1泊旅行に限らず、日帰りツアーなどもたくさん計画しておりますのでお気軽にご参加ください。

ささか
ツアー

沖縄・
観月の宴ツアー

添乗記

浦田雅芳

笹加・名古屋店では、九月二十五日から二十七日までの三日間、沖縄ツアーを開催いたしました。今回は琉球染織の工房めぐりと工房主催のパーティー「琉球芸能の夕べ」に参加する旅です。

大型の台風二十一号が接近し、道中の天候は大丈夫だろうかという不安を抱きつつ、セントレアより出発。約二時間半のフライトを経て到着した沖縄は、心配をよそに快晴。まず最初に、首里にある「城間びんがた工房」を訪れました。琉球紅型は第二次世界大戦による焦土化により衰亡の危機に陥りますが、一四代城間榮喜氏の紅型再生の取り組みにより甦り、さらに本土との交流により現代の形になっていったそうです。古めかしい門をくぐり、緑生い茂る階段をのぼったところに工房はあります。作業場では7、8人の職人さんが色挿しをしています。紅型の色鮮やかさにくらぐら。驚いたのは職人さんが年配の方より若い方が多い事。こうやって自分達の歴史や文化を守り、受け継いでいく人達が沖縄にはたくさんいるんだと、同じく伝統工芸に携わっている私としてはとても嬉しく思いました。作業工程などたくさん興味深いお話をいただいた栄順氏、栄一氏、大変



若い職人さんが働く「城間びんがた工房」はとっても明るい工房でした

ありがとうございます。二日目は沖縄本島北部の喜如嘉へ足を運び、芭蕉布会館を見学しました。芭蕉布は十三世紀より織られる沖縄最古の織物で国指定重要無形文化財に指定されています。ここではまず芭蕉布ができるまでのビデオを拝見。知識を培ったところで作業風景を見学させていただきました。湿度管理がされた部屋で皆さん黙々

皆様からのご意見・ご希望コーナー

Voice

ヴォイス

今の様子を今以上の笹加にするために皆様のお声を聞かせて下さい。

只今、「笹加だより」では、皆様からのご意見・ご投稿等をお待ちしております。皆様の日頃から疑問に思っていることや相談など、どんな些細なことでも結構です。どうぞお気軽に「ヴォイス」のコーナーまでお寄せください。(担当/竹田昌弘まで)

と仕事をしています。そして、この度説明下さったのは、な、なんと人間国宝・平良敏子さん！御年九十五才。まさかお会いできるとは…。平さんは芭蕉布の復興に取り組んでこられ、重要無形文化財保持者として、後継者育成に力を注いできました。そして今なお現役でいらつしゃいます。この日も芋績み(ウーウミ)芋挽きした紐から糸をつなぐことで、製作工程の中で一番時間のかかる作業)をされていました。その後世界最大の八百坪もある糸芭蕉畑も見学させて頂き、自然と共に生きていることを実感しました。最後には写真撮影にもかわいらしい笑顔で応じてくれた平良敏子さんに感謝！奥深い琉球染織の美を思いっきり堪能した後は、いよいよメインイベント「観月会」。

琉球の貿易港として栄えた長浜港の丘の上に建つギャラリー「真南風(まふえ)」で行われました。高台から眺める景色は異国の趣です。しかし、最高のロケーションにも関わらず、残念ながら台風の影響で天気が崩れると予想され、パーティーは室内スタート。まずは万座ビーチホテルのレストランよりのお食事をビュッフェスタイルで堪能。そして本紅型衣裳で優雅に踊る琉球舞踊を鑑賞し、続いて古謝美佐子さんのステージ。人の心を癒す高周波とゆらぎを同時に持つという古謝さんの美しい歌声には本当に癒されました。中でもお孫さんの誕生を祝って作られた「童神(わらびがみ)」を聞いた時には感動のあまり恥ずかしながら涙がこぼれるほどでした。また、旦那さんの佐原一哉さんとの息の合った掛け合いも愉快で楽しませていただきました。そしてこの後、奇跡が…。



とってもお元気、人間国宝・平良敏子さんを囲んで一枚



古謝美佐子さんのステージに一同癒されました

この歌声と皆の思い(意地?)が天に届いたのか?雨降り目元だった空から晴れ間が。そしてそこにはなんとお月様が現れ、最高の喜びを皆様と共有することができました。その月明かり照らす石舞台の上でも古謝さんが歌う姿には、幽玄の世界に吸い込まれそうな、そんな不思議な感覚を味わわせて頂きました。そのあとの沖縄の青年たちによる本番さながらの力強いエイサーにはただただ圧倒されるばかり。最後は皆で「カチャーシー」を踊り、気分最高潮のままに観月会は幕を閉じました。

参加してくださったお客様ほとんどが晴れ女だったこともあり、心配された天候も最後まで大崩れすることもなく、ツアーは無事終了！ご協力くださった沖縄の皆様へ感謝！最後までお付き合いくださったお客様に感謝！沖縄の自然に感謝！感謝！本当にありがとうございます。